

霧島

広報きりしま

こころつながる、
明日につながる

特集 Special Feature





平成23年3月11日午後2時46分。東日本大震災が発生し、東北地方を中心に多くの犠牲者が出ました。さらに福島第一原発事故の影響で、今も多くの人が故郷を離れ避難生活を余儀なくされています。

その一方で、全国に支援の輪が広がり、「絆」という人と人のつながりが強く見直されました。

普段何げなく人と接している私たちの暮らし。それは本当に当たり前のことなのでしょうか。

震災から間もなく5年。あらためて「つながり」とは何なのか、考えてみます。

こころつながる、 明日につながる

震災から生き延びて

「フクシマ、いや、日本はもうダメだ、家族は諦めろ」。震災発生時、仕事で米国にいた助川佳之さんは、同僚から帰国を止められます。現地のテレビでは津波が東北各地の家屋や人をのみ込む様子や、原発事故による放射線で日本が滅亡するという憶測が報じられました。助川さんの故郷・福島県いわき市には妻の京美さんと当時中学生だった息子の柗真さんが住んでいて、連絡がついたのは3日後のことでした。

「妻と子どもが無事と分かったとき、涙が出ました。生きていてよかった、ただそれだけでした」

助川さんの自宅は海から1・6キロ離れていて、津波の被害は免れ家族や親戚は無事でしたが、家は地震で全壊しました。地震に遭った京美さんは「ビルや信号機、道路が波打つように揺れていた恐ろしい光景は今でも忘れられません。いわき市では震災で460人以上が亡くなりました。会社のメールから関係者の訃報が飛び込んでくる毎日。そのたびに思わず目を覆いました。度重なる余震の恐怖に、すぐ避難できるようにジャージ姿で寝る日々が続きます



した」と打ち明けます。

震災が起こる前まで米国で魚の養殖や取引の仕事をしていた助川さんは家族のために仕事を辞め、一緒に避難生活を始めました。

「住宅不足のため、やっと入居できた借り上げ住宅も床が大きく傾いていて、気分が悪くなりました。目に見えない放射線におびえる暮らしに、気がおかしくなりそうでした」

仕事もなく途方に暮れる中、助川さんは以前仕事で付き合いがあった垂水市の養殖業者から「一緒に働こう」と声を掛けてもらいました。放射線から家族を守るため故郷を離れ、新天地に

向かう決意をします。

震災の年の11月に垂水市の社員寮へ先に一人移った助川さん。その後、京美さんが霧島市の移住制度の良さを知ったことから溝辺町に家を建て、1年後の平成25年にやっと家族と一緒に暮らすことができました。「二度と家族の安否でおびえたくない」。その一心でようやく実現させた、新たな生活でした。

家族や地域と手を取り合って

避難生活を脱した穏やかな暮らしの一方で、被災地での体験は助川さんたちに影を落とし続けます。

「故郷を捨ててきたという負い目が心へのしかりました。親友との別れを余儀なくされた息子の心は一時、荒れたことも。実際に津波の光景を見た妻は、水が怖くてしばらく海沿いを運転できませんでした。夜中もよくうなされていました」

そんな状況を癒やしていったのは家族のつながりでした。京美さんは「夫はいつも寄り添って私の不安を聞いてくれました。長年離れて暮らして忘れていましたが、家族一緒が一番幸せだと気付きました」とほほ笑みます。

知らない土地での暮らしも、地域の人の優しさで救われたと話します。



助川佳之(55)さん、京美(53)さん夫妻

「地域の皆さんは気さくで、近所であいさつを交わし、自治会の草刈りで一緒に汗を流すうちに、次第に不安が和らいでいきました。若い世代の人たちとも家族ぐるみの付き合いをさせてもらっています。本当にここに来て良かった」

家族や地域の人たちとつながることで、前に進む力が湧いたという助川さん一家。

「今でも、東北のものをつい探してしまいます。鹿児島弁の難しさや食文化の違いなどに驚きましたが、もう慣れました。故郷への思いや、つらい記憶は無くなることはありませんが、私たちには家族や地域の人たちがいる。手を取り合っていけば、これからもきっと大丈夫です」



死者・行方不明者1万8457人、建物などの全壊・半壊は約40万戸。平成28年1月8日時点での避難者は約18万2千人（警察庁発表）など、日本の災害史上最大規模の被害となった東日本大震災。政府は震災から5年を集中復興期間と位置付けました。その5年がたとうとする被災地の実態は今、どうなっているのでしょうか。

被災地、復興はまだ道半ば

震災直後、全国から多くの支援が送られた東北。霧島市も被災した自治体を支援するため、関平鉱泉水や市民から提供された支援物資、市内で募った義援金約3500万円を届けました。

さらに、これまでに延べ83人の職員を宮城県に派遣しました。

震災の2年後に当たる平成25年4月から1年間、同県気仙沼市に派遣された元市職員の山下晃さん（63）は、被災地をよく知る一人です。

今も傷を抱える被災地の姿

現地での山下さんの仕事は、各地から仮置き場に集められたがれきを撤去する作業でした。撤去前の分別作業は犠牲者の骨などがある可能性もあり、ほとんどが手作業で行われ、大きな置



元 霧島市役所職員
山下 晃さん（63）

き場では数千人が従事していました。

その作業中、被災者から多くの話を聞いたという山下さん。娘を津波で亡くし、家も流され、分別作業で何とかしのいでいる仮設住宅暮らしの老夫婦からは「汚れたガレキを毎日触ります。が、被災者の思い出が詰まった大切な物ばかりで、汚いと思ったことは一度もない」。妻と家を津波に流されたという男性からは「20代の娘はほとんど口を利かなくなり、親子の会話が減った。たばこも吸い始めるようになり心配」、父母と祖父、2人の妹を失っ

- ①壊滅的な被害を受けた松岩地区被災状況(平成23年3月) ②プレハブで営業を続ける復興商店街(平成23年12月) ③土地の高さを上げるため盛土でかさ上げ工事が進む鹿折地区(平成26年8月) ④ボランティアによる大谷海岸清掃(平成24年6月) ⑤霧島市から届けられた励ましの声(平成23年10月) ⑥震災の象徴とされた共徳丸(平成25年8月) ⑦まちの随所で今も献花する人が絶えない(平成27年9月)





進まぬ復興、風化の懸念も

気仙沼市の職員や全国から支援に来ていた職員に慕われ、現在でも毎年2、3回現地を訪れている山下さん。被災地からも毎年家族などを受け入れるなど交流が続いています。「山下会」と名付けられた現地での交流会などで聞いた被災地の復興状況について「被災者の市営住宅の建設を急いでいますが、その多くが仮設住宅に住んでいるのが現状です。工事も土地の所有者が分からないため、同意が得られず進まない現場も多い。沿岸部に設置予定の防波堤も地域住民と折り合いがつかずめどが立っていません。本当の復興はこれから」と肩を落とします。

実際に被災者に対して行われたアンケート調査結果からは、復興が十分に

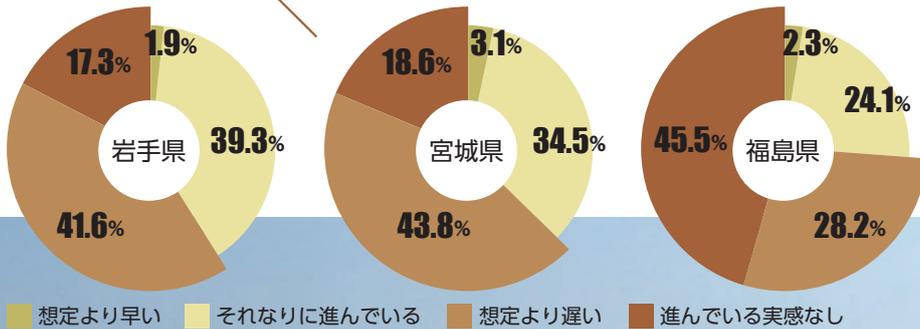
たという女性からは「海はたくさん大切な人や思い出を奪ったけれど、母たちがいる、昔と変わらない海がずっと大好き」と聞き「胸が苦しくなった」と声を詰まらせます。

さらに「被災当時、多くの職員が街中や海岸に放置された遺体を何体も運んだといえます。今も頭に残っていて、いまだに夜にうなされることがあるそうです。体験者でなければ分からない心の傷に苦しみ続ける姿が私の頭から離れません」とうつぶさみます。

NHK「被災者700人の声」アンケート調査結果

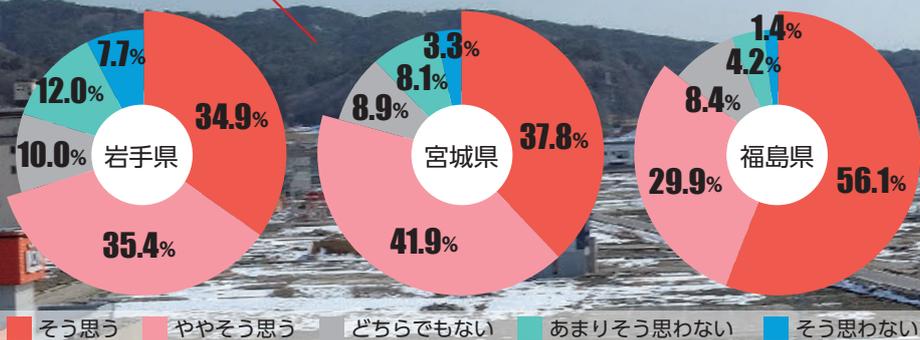
平成27年1月から2月にかけて、岩手・宮城・福島県の被災者など701人を対象に実施。

災害時に暮らしていた地域の復興は進んでいると感じますか？



進んでいるとはいえず、被災地以外の人の関心も薄れ、震災の風化が懸念されています。山下さんは「第二のふるさと」と思う東北の復興のため、自分に何ができるかをこれからも考えていきたい。被災地の仲間が私ともつながり続けてくれるように、私も被災地のことを忘れない」と前を向きまします。

震災から4年がたち、震災が風化していると感じていますか？



霧島市民の中にも、被災地とのつながりを
今も大切にしている人がいます。
遠く離れていても、その思いが変わることはありません。

遠い被災地へ 今もつながる「思い」

「放射線のため外で遊べない福島の子どもたちに思い切り遊んでもらいたい」。鹿児島県出身の歌手、長瀬剛さんが平成23年8月、避難指示のため全国でバラバラに暮らしていた福島県浪江町の子ども20人を、霧島の自然を満喫するツアーに招待しました。地域や企業など多くの市民も協力する中で、特に子どもたちと多くの時間を過ごしたのが、運営を担った「霧島おやじの会」の溜孝美さん(41)。

子どもたちは、心に傷を負ったまま初めて訪れる地に、最初は不安そうな表情を浮かべていました。しかし、霧島の子どもや大人たちと一緒に無人島での釣りやブドウ狩り、山登りなどで真っ黒になるまで遊ぶうちに、互いの絆が深まり、満面の笑顔を見せてくれるようになりました。7日間があっという間に過ぎ、最後は互いに涙を流し

「きつとまた会おう」と再会を誓い合っ
て別れました。

遠く離れていても

溜さんは浪江町の子どもたちから、お礼に贈られた寄せ書きを今でもよく眺めています。一緒に遊んだ写真や思い出が詰まったメッセージを見て、思わず頬が緩みます。子どもたちから「タモリさん」の愛称で親しまれた溜さんは、今でも毎月数人と電話やメールをするなど、実の父や兄の間柄のような交流が続いています。

「彼らの中に、中学生になってから不登校になった子がいました。彼との話は何でもない話や冗談ばかりですが、無理に励ますことはありません。声が聞けるだけで互いに安心するのだと思います。肩肘張らない関係が、僕らからのつながり方なんです」

霧島おやじの会
溜孝美さん(41)

また、当時同行した看護師に世話になった子が「将来、霧島の病院で看護師になりたい」と言ったことを思い出しながら、溜さんは「そこに暮らす人と触れ合うと、その土地への愛着が生まれます。つながるために、付き合ひの長さは関係ないと思います。彼らと一緒にいたのはたった1週間でした。どれだけ相手を考えているか、心の距離が大事」とほほ笑みます。

成長した彼らに次に会うのが楽しみと目を輝かす溜さんは、福島の子どもたちに「人間は助けてもらうことのほうが多い。人と関わり多くの体験を共有して、受けた恩を次につなげられる人になって」とエールを送ります。

震災から5年を機に、サプライズを計画中という溜さん。最高の霧島の思い出を作った子どもたちとのつながりはこれからも続きます。

寄せ書きが収められた額を
懐かしそうに眺める溜さん▶



山登りなどで互いに交流を深めた



思い出と感謝が詰まった福島っ子の寄せ書き



長瀬さんと共々笑顔を見せる福島っ子たち

被災地とつながる音色

震災の風化を食い止め、被災地を支援しようとする取り組みが全国的に広がりをみせています。平成24年から毎年、震災の発生時刻に合わせて開催されている「ストリートピアノ」でつなぐ祈りのハーモニー」。昨年は平日にもかかわらず全国の10会場に1100人が参加。霧島市でも国分パークプラザに集まった多くの人が、被災地に向け鎮魂の歌声を届けました。

ストリートピアノとは、使われなくなった古いピアノを再生し、ペイントして屋外などで自由に演奏してもらうものです。九州新幹線全線開業を機にJR鹿児島中央駅に近い一番街商店街の活性化に役立てようと、溝辺町の故・大坪徹とあさんが設立した「鹿児島まち自慢快発考舎かいはつこうしゃ」が初めて設置しました。

しかしお披露目イベントを予定していた前日に東日本大震災が発生。「このタイミングに設置したのも何か因縁めいたものを感じました。音楽で人同士をつなげるピアノを、遠く離れた被災者の心と、応援したい自分たちの心をつなげる平和の象徴に」と話すのは、大坪さんの息子で霧島での同イベントを運営する大坪元気げんきさん(31)。翌年、県内3か所で開催を初開催し、募金を集めました。次第に被災地

にストリートピアノを送ろうという機運が高まり、平成25年には宮城県南三陸町に1台寄贈。その後も全国に増え続け、霧島市、鹿児島市、枕崎市など県内外に19台が置かれ、さらなる設置先を探しています。

復興するその日まで

ストリートピアノは寄贈されたピアノの運搬、修理、設置の経費全てを鹿児島まち自慢快発考舎が負担。時には管理や騒音問題を危惧して理解が得られず、設置依頼で何度も足を運ぶことも多く、地道な活動が求められます。それでも広げようとすることに大坪さんは熱い思いを込めます。

「寄贈者は、誰かの楽しみや、復興イベントで被災者の慰めの一助になればと、思い出が詰まったピアノを提供してくれます。イベントへの参加者からは『震災を風化させたくない』『年に一度だけど続けることがつながること』という声を聞きます。本当の復興を迎えるその日まで、一つでも多くのピアノで祈りを被災地に届けていきたい」。同じ時刻に、同じ場所で、同じ思いを共有し、共に行動する。皆さんにもつながりを実感したときに心当たりがあるのではないのでしょうか。きっとその瞬間、確かなつながりが生まれていくはず。



多くの人の思いを被災地に運ぶストリートピアノ



祈るように歌を捧げる参加者たち



イベントに参加した大勢の人たち



第5回 ストリートピアノでつなぐ祈りのハーモニー

「ふるさと」と復興支援ソング「花は咲く」をピアノに合わせて参加者で合唱します。ストリートピアノ活動への募金も行います。

- 日時= 3月11日(金)午後2時~3時
- 場所= 国分パークプラザほか全国16か所

問= ストリートピアノプロジェクト事務局
【大坪】☎090(2508)0899

鹿児島まち自慢快発考舎
大坪元気げんきさん(31)



人はいつ困難に直面するか分かりません。そんな時に希望を与えるのが人同士のつながり。一人の力は小さくても大勢がつながれば大きな力に変わります。

一人はみんなのため みんなは一人のため

てキャンセルに。こんなことは初めてで、先行きを考えると不安でいっぱい。頭を抱えました」と振り返ります。

受けた恩は人につなげて

一方、風向きの影響で大量の火山灰が宮崎県側に降灰。高原町や都城市などでは一時、避難者も出るなど市民生活に大きな影響がありました。

避難所の生活を報道で知った霧島温泉郷では「自然が相手なので焦っても仕方ない。お客さまが来ないのなら、日ごろ宿を利用してくれる宮崎の人たちに恩返しをしよう」と、旅館や飲食店などでつくる事業協業組合の会員など有志11人が2月6日、27世帯37人が避難していた高原町のほほえみ館に炊き出しに行きました。

霧島市でも自然災害による被害がありました。平成23年1月26日の新燃岳の噴火では人的被害こそありませんでしたが、付近の温泉郷では宿泊のキャンセルが相次ぐなど大きな経済的打撃を受けました。



高崎道江さん(62)

牧園町にある霧島温泉郷の旅館で

女将として働いていた高崎道江さん(62)は、当時を「噴火の空振で窓ガラスが割れ、本当に怖かったです。何よりも半年先まで埋まっていた予約が全



高原町へ支援に向かった霧島温泉郷の皆さん(平成23年2月)

みんなで持ち寄った食材で温かい豚汁やおにぎり100食分を振る舞い、「心も温まった」と喜ぶ避難者を見て、高崎さんは「私たち以外にも多くの支援者がいて、人の温かさを感じました。自分たちも負けないように頑張ろうと思いい、参加した仲間の絆も一層深まりました」と話します。

その後、全国から義援金や



霧島市の消防職員や消防団員なども宮崎県で降灰除去活動などを支援



高原町のほほえみ館で炊き出しをする支援者

支援物資が届いたり、地元の企業や団体の輪が広がりました。客足を取り戻そうと、以前より一層のおもてなしを磨いた結果、翌年の大手広告代理店による「温泉おもてなしランキング」で全国1位に輝いた霧島温泉。

高崎さんは「人の恩はどこかでつながっている。今があるのも、苦しいときに支えてくれた支援者の皆さんや團結した仲間のおかげ。感謝したいです」とほほえみます。

尊い命、何としても救いたい

「将来は、家族みんなでパン屋をしたい。優しく、母ちゃんに頼られるような大人になるのが夢」と照れくさそうに笑うのは、陵南小学校3年の水流添日向君(9)。3人の兄と遊ぶのが大好きなごく普通の男の子です。しかし日向君は小学1年の9月に、50万人に1人の頻度で発症する「拘束型心筋症」と診断。2年後の生存率が50%未満で、国内での10歳未満の臓器提供は1例のみ。現実的に唯一の救命手段は海外での移植手術で、その手術費や渡航費などに1億4500万円が必要という危機的状況に直面しました。

そこで立ち上がったのが同小の保護者たち。直後の10月には「つるぞえひなた君を救う会」を設立させ、11月から県内各地で募金活動を始めました。同会共同代表の一人で、日向君と長女が同級生だった吉原敏樹さん(39)は「自分の子が同じ立場だったらと思う、できることは何でもやろう」と心に決めました。

幾重にも交わるつながり

そんなとき、霧島市をPRするおじゃんせ霧島大使の横綱白鵬関が霧島市を訪問。日向君のことを聞くと協力を約束し、母・二三代さん(44)に「愛」



白鵬関に感謝を伝えた日向君



鹿児島市の繁華街でも行われた募金活動



日向君自身も募金を呼び掛けた



大好きな兄弟に囲まれ喜ぶ日向君(中央)

と書いた直筆の色紙を贈り「皆さんの愛に支えられるように」と自身のブログで募金への協力を呼び掛けます。支援の輪はさらに広がり、全国に1500もの募金箱が設置。高校生や企業・団体など、大勢の人々が毎週のように街頭で募金活動に協力しました。

その結果、募金開始からわずか4か月で目標額に到達。渡航した米国でドナー(臓器提供者)が見つかり手術も無事成功して、平成26年12月、家族の元へ元気な姿で帰ってきました。その後も順調に回復を続け、昨年は学校の運動会にも参加。12月の大相撲霧島場所では、白鵬関に直接感謝の気持ちを伝えた日向君。吉原さんは「人は周りの人とつながりながら生きていけると実

感じました」と目を細めます。日向君が今年1月に9歳の誕生日を迎えたとき、二三代さんは「真っ先にドナーやそのご家族のことを考えました。日向も『一人で一人』と言っています。しっかりと命のバトンを受け取って、ドナーのお子さんの分まで精いっぱい生きてほしい」と目を潤ませました。他人同士、頼りなく小さなつながりでも、幾重にも交われば、命を救う大きな可能性を秘めていることを日向君の笑顔が教えてくれます。



吉原敏樹さん(39)



こちらの2次元コードから
つるぞえひなた君を救う会からの
感謝の動画が視聴できます

身近な「つながり」が よりよい 明日をつくる

近年、孤独死やひきこもりなどの社会問題が数多く報じられています。

一方で東日本大震災では、人同士のつながりが被災者の心の大きな支えになったといわれています。

つながりを持つことは、私たちのよりよい暮らしに結びつきます。

人と人とのつながりが薄れてきているといわれている近年、霧島市でも自治会加入率がこの10年で約16ポイント下がり、6割を切ろうとしています。人口は維持しつつも10年で3千世帯が増えるなど、核家族化も進んでいます。さまざまな社会問題をもたらすつながりの希薄化を食い止めるため、私たちは何ができるのでしょうか。

震災の1か月後、福島県を支援しよ

うと鹿児島県内の福島県出身者らで結成した「うつくしま福島の会」の会長で、ふるさとから遠く離れた会員同士のつながりを支援する諏訪園厚子さん(62)にそのヒントを聞きました。

頼りは身近なつながり

福島県浪江町出身の諏訪園さんは、震災直後に福島へ支援に行ったことがきっかけで、人同士の「つながり」に



うつくしま福島の会
諏訪園 厚子さん(62)

高校まで浪江町で過ごす。早稲田大学卒業後、結婚で鹿児島へ。東日本大震災後、両親を福島から霧島市に呼び、親孝行ができるようになったと喜ぶ。

ついてさまざまな角度から考えるようになったといえます。つながりの必要性を再認識したのが、被災地で生き抜くため互いに支え合う姿でした。

「震災のとき、一番頼りになったのは近所や地域の人たちの力でした。福島で、地域の人が重い水の配給時に母の手助けをしてくれ、とても助かったことがあります。そのとき、本当に頼りになるのは近くにいる人なのだ」と痛感しました」

非常時に大きな力を発揮する身近なつながり。一方で、普段の暮らしにはどのような影響があるのでしょうか。諏訪園さんは、日常を快適に暮らす上でも欠かせないものといえます。

「例えば孤立や犯罪の抑止も、身近な者同士声を掛け合うことである程度解決できます。近所や地域とのつながりは、暮らしの安心に大きく貢献しま





天降川河川公園での芋煮会



交流会で記念撮影



花見山の桜と雪の吾妻小富士

す。その身近なつながりを集めて、多くの人をもっと暮らしやすくなるためにあるのが『自治会』という仕組みなのだと思います」

つながりづくりのきっかけ

近所にどんな人が住んでいるかわからないことも多い近年。つながりたくても、どうすればいいかわからない人も多いのではないのでしょうか。

諏訪園さんは自身の経験から、つながるためのきっかけについて興味深い話をします。

「毎朝散歩ですれ違う人にあいさつを続けた知人が、やがて互いに言葉を交わすようになり、畑で取れた野菜をもらうような付き合いに発展しました。私の会社では社員同士の連携を向上させるため、同僚への感謝をカードに書き、全員に示すことにしました。最初は抵抗を感じていた社員のカードも次第に増えていき、職場の雰囲気も明るくなりました。この2つの事例に共通

するのが『気持ちをはっきりと示すこと』です。あいさつの際は目を見て、相手に関心があることを示すことも大事。最初は勇気があるかも知れませんが、自分を変え、近所や地域のつながりをつくる大きなきっかけになると思います」

きつと、手を取り合える

被災地から鹿児島に避難してきた人たちは、縁が無かったこの地で次第に地域に溶け込み、新たな生活を始めています。諏訪園さんはその姿を見て「転勤や引っ越しなどで思い当たる人もいます。慣れない地に根を張るのは大変です。本人たちの努力も必要ですが、歓迎しようとする周囲の気持ちも大事。どちらが欠けてもいけません。新たに加わった地域の仲間は、いつか自分を助けてくれる存在になるかもしれません。互いに手を取り合っていくことは、私たちの暮らしに欠かせないことなのではないでしょうか」

私たちは震災から「人と人のつながりが持つ力」を学びました。家族や地域とのつながりで生きる力を得た人がいます。遠く被災地と今もつながりを持ち続けている人がいます。困っている人のため、行動しようとする人がいます。その人たちのように、人とのつながりを増やせば、笑顔が増え、安心できる地域や暮らしを築くことができます。

心をつなげば、きつとよりよい明日につながります。震災から5年の節目を機に、皆さんもつながりを増やしていきませんか。

■ 第4回 福島復興支援ツアー

福島第一原発がある大熊町などの被災地や、桜が咲き誇る風光明媚な景色を見てください。福島に行って、知ることが何よりの支援になります。

- 日時＝4月15日(金)～17日(日)
- 集合場所＝鹿児島空港
- 参加費＝69,800円
- 最小開催人数＝30人
- コース＝大熊町、双葉町、浪江町、福島花見山、磐梯吾妻レークライン、浄土平、野口英世記念館、会津藩校日新館、鶴ヶ城など。

■ 東日本大震災報道写真パネル展

福島民報社(福島県の新聞社)が撮影した66枚を公開します。(無料)

- 日時＝3月21日(月・祝)～27日(日)
- 場所＝宝山ホールギャラリー(鹿児島市)

問・申＝うつくしま福島の会【斉藤】
☎(56) 2147



高専生が地元企業を学ぶ



「高専生のための地域企業研究会」が1月14日、鹿児島工業高等専門学校であり、平成29年3月に同校を卒業予定の学生ら約200人が参加しました。就職による地元学生の県外流出を防ごうと、霧島市を中心に南九州の有志企業と同校の連携で設立した錦江湾テクノパーククラブが開催。同クラブの一般会員のうち16社が参加し、企業の業績や特色、福利厚生などを参加者にPRしました。

臨空団地に 新たな物流の拠点



航空貨物などを扱う㈱ロジステックネットワークが溝辺鹿児島空港インターチェンジ近くの鹿児島臨空団地に事業所を新設することになり1月12日、市と立地協定を結びました。取扱貨物量の増加への対応や新たな物流システムの構築を目的に新設。7月の操業開始を目指し、12人を新規雇用する予定です。池田浩孝代表取締役(左から2番目)は「新たな雇用の創出や地域の活性化に貢献したい」と抱負を語りました。

サンフレッチェが 連覇へ始動



昨年のサッカーJ1年間王者、クラブチーム世界3位に輝いたサンフレッチェ広島が1月25日から2月7日にかけて、国分運動公園でキャンプを行いました。霧島市でのキャンプは4年連続で、リーグを代表する選手らを一目見ようと大勢のファンが詰め掛けました。期間中は大学チームや鹿児島ユナイテッドFCとの練習試合が行われ、選手たちは軽快なプレーを披露しました。

きりしまタイムズ

The Kirishima Times



地方創生を 霧島市民と共に

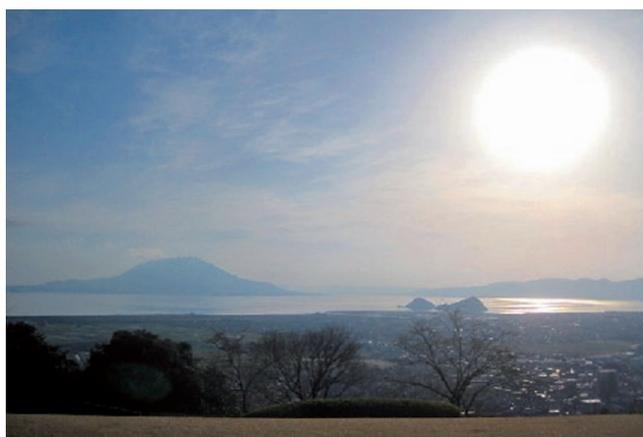
霧島市まちづくりフォーラムが1月11日、市民会館で開催され、約800人が参加しました。慶應義塾大学教授の岸博幸さん(53)が「霧島市にはたくさんの魅力がある。創意工夫して地域の生産性や付加価値を高めて」と講演。パネルディスカッションでは、地元企業の経営者や地区自治公民館長、学生など7人が登壇し、それぞれの立場から提言しました。

霧島市から 「新日本歩く道」



地域が誇る歴史や文化などが体感できる道を選ぶ「新日本歩く道紀行100選」に、霧島市から6コースが認定され12月28日、市役所で報告会がありました。選ばれたのは山ヶ野金山ウォーキング大会の「山ヶ野黄金の郷土跡めぐり」、龍馬ハネムーンウォークin霧島の4コース、龍馬の散歩道です。龍馬ハネムーンウォーク実行委員長の中堀清哲さん(48)は「認定されてうれしい」と喜びました。

思い出の城山公園



国分の城山公園から撮った写真です。国分の街並みと桜島が一望できるスポットの一つ。子どものころに家族で遊びに来たり、友達と花見に訪れたり城山公園は思い出の場所です。何げない霧島の風景を大切に、これからもたくさんの写真を撮り続けていきたいです。

【撮影データ】絞り8.0 シャッター1/1250 ISO125

第一工業大学建築デザイン学科2年 光画部

しのみや こうき
篠宮 昂輝さん(20) 写真歴2年



市内の学生と写真クラブからの投稿写真紹介「スナップ×スナップ」



雪とヒカンザクラ



カメラを片手に牧園町の丸尾周辺を散策中の1枚。前日の降雪で一面雪景色の中、ヒカンザクラの鮮やかなピンク色の花が目にとまり、思わずシャッターを押しました。背景の枝が邪魔にならないよう、ぼかすのに苦労しました。今まで風景写真を撮ることが多かったため、これからは草花などの接写にも挑戦したいです。

【撮影データ】絞り5.0 シャッター1/500 ISO500

かつじ
大山 勝司さん(70) 溝辺町崎森、写真歴9年

児童がふるさとウォッチング



国分西小学校の児童、保護者ら約80人が校区内の史跡などを巡る「ふるさとウォッチングin福島」が1月16日にありました。陸上自衛隊国分駐屯地前の「特攻機発進の地」で立野初枝さん(91)が、子の行雄さん(63)と孫の理香さん(30)による手作りの紙芝居で、戦時中の空爆被害などの体験を話すと、児童らは聞き入っていました。

小浜小と隼工高野球部が交流



小浜小学校の児童と隼人工業高校野球部の交流会が1月23日、同小で初めて開催され、近くの小野小学校4人を含む児童22人、部員21人が参加。児童のスポーツへの関心を高め、地域貢献や教えることを通じて学んでほしいと野球部の保護者が企画しました。緊張気味だった児童らは、部員からキャッチボールやバッティングを教わるうちに自然と笑顔になりました。

今

今年1月に鹿児島市で開催された南日本長距離走大会女子中学1年2000mの部で6分34秒33を記録。大会記録を更新して優勝したのは、国分南中学校1年の黒川円佳さん(13)です。昨年7月に開催された中学校総体県大会女子800mでの優勝や、10月のジュニアオリンピック女子800mへの出場など、将来が期待される選手です。

黒川さんが陸上に目覚めたのは、小学5年のとき。走ることが大好きだった黒川さんは、父・武さん(44)の勧めで県内の小学生が集まるマラソン大会に初めて参加。同学年83人の中で1番になり「本格的に陸上に挑戦したい」と思うようになりました。

中学になると陸上部に入り、出場する大会で次々と入賞。800mを中心に中長距離を得意とし、1月に開催された県地区対抗女子駅伝では始良地区

YELL
エール

父・武さん(44)

生き生きと楽しそうに走る姿に元気をもらっています。先生や仲間、運営スタッフへの感謝の気持ちを持ってこれからも夢に向かって走り続けてほしい。家族みんなで応援しています。

1秒のタイムを縮めるため練習に励む黒川さん



このコーナーでは、各分野で活躍する子どもたちを紹介します。夢に向かって頑張る子どもたちを、ぜひ応援してください。

DREAM

夢のカタチ①

未来の夢を追う子どもたちの今を描きます

走ることが好き 目標に向かって駆ける

南日本長距離走大会 女子中学1年2,000m大会新記録
中学校総合体育大会県大会 女子800m優勝



国分南中学校1年
黒川円佳さん(13)

小学校では6年間、空手を習う。兄に憧れて小学4年から始めたサッカーは現在も続ける。

の選抜メンバーにも選ばれました。黒川さんは「本番での出走は叶いませんでしたが、合同練習で社会人や高校生の先輩ランナーと一緒に走り、間近で走り方を学ぶことができたのは貴重な経験でした。学んだことを生かして来年こそは出走したい」と決意を新たにします。

順調に実力を上げていく黒川さんは「走れるのは、みんなの支えのおかげです。陸上の知識がなかった私にフォームの基礎から教えてくれたり、どのタイミングで追い越すか一緒に作戦を立ててくれたりする先生や先輩。休みの日に一緒に走ってくれる父や大会に必ず来てくれる母。走るときには支えてくれる多くの人と一緒に走って走っている気持ちです」と、周りへの感謝も忘れません。

目標は「今年の全日本中学校陸上競技選手権大会に出場すること」と目を輝かせる黒川さん。全国の舞台で活躍する日を夢見てこれからも走り続けます。

新刊紹介

広告チラシでつくる
世界の飾り小物

あおきいくこ 著

日本の折り紙アレンジ、ドイツのわら細工、中国の切り絵など、さまざまな手法でつくる世界の飾り小物を紹介します。



帰ってきた腕貫探偵

西澤保彦 著

1週間ほど前に亡くなったという女性の霊がやって来た。彼女は作家だと名乗るが、その作家は50年前に亡くなっているはずで...



遠野物語

柳田國男 原作

岩手県遠野に伝わる不思議な住民たちの物語を、カップの語りで紹介します。



手と手をつないで

マーク・スヘアリング 文

四季折々の季節をたどりながら、まだ見ぬ世界への一步を導く、心温まる絵本。



図書館へ行こう

<http://www.lib-kirishima.jp/>

読まなくなった本は ありませんか

読み終わった本や、不用な本を、読書まつりのリサイクル市に出してみませんか。



- 受付期間=3月1日(火) ~ 31日(木)
- 受付場所=国分図書館カウンター
- 受付できる本=一般小説(単行本・文庫・新書)、実用書、児童書
- 受付できない本=雑誌、コミック、全集、事典・辞書、問題集、破損・汚損・落書きなどがある本、図書館などで廃棄された本

※リサイクル市は11月13日(日)を予定しています。

問=国分図書館 ☎(64) 0918

私の宝本



家族みんなのお気に入りです

(隼人町神宮在住)
ひえいだ
日永田 恵子さん
なつみ
七海ちゃん(6)
みずき
瑞季ちゃん(1)
おすすめの本



パンダ銭湯
作者: tupera tupera

パンダ親子の銭湯での様子や会話のやりとりは、まるで人間のようです。サングラを掛けているので目が黒いこと、パンダもサイダーを飲むこと、世間話をするなど、パンダの新しい世界と楽しい秘密を知ることができます。思わず笑ってしまう楽しい絵本です。

イベント名	日 時 [対 象]	場所/問い合わせ先
ほとんどの森おはなし会	3月12日(土)・26日(土)、4月9日(土)・23日(土) 14:00 ~ 14:30	国分図書館 ☎ (64) 0918
幼児と小学生のためのおはなしの部屋 (りんごの木)	4月 2日 (土) 10:30 ~ 11:30	
赤ちゃんといっしょの部屋 (りんごの木)	4月 4日 (月) 10:30 ~ 11:00	
おはなしの部屋	3月20日 (日) 11:00 ~ 11:30 [幼児・小学生] 4月 1日 (金) 11:00 ~ 11:30 [赤ちゃん] 4月 7日 (木) 16:00 ~ 16:30 [幼児]	隼人図書館 ☎ (43) 7574
語りの部屋 (語りの会あもり)	3月13日 (日) 11:00 ~ 11:40	福山図書室 ☎ (56) 2026
おはなし広場	3月19日 (土) 10:00 ~ 11:00	

隼人図書館イベント



子ども読書の日
「おはなしの部屋」
(おはなし母さん)

● 日時 = 4月17日(日) 午前11時 ~ 11時40分

問=隼人図書館 ☎ (43) 7574



s l o w l i f e

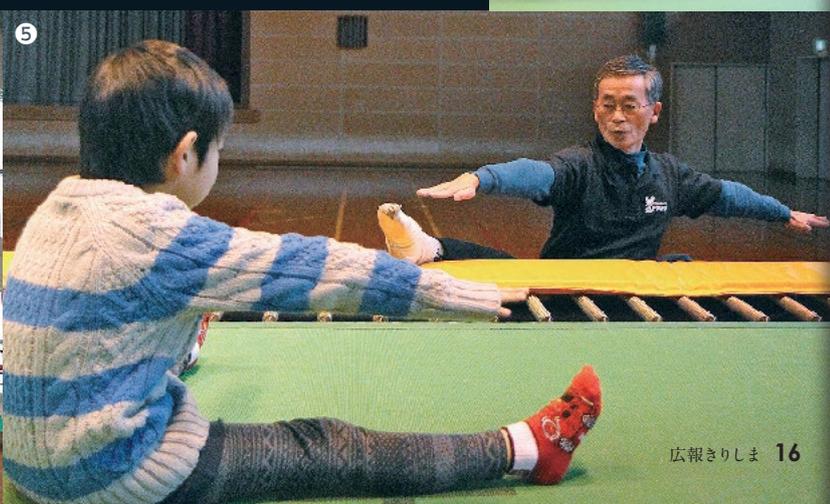


人の風景

THE SCENE Vol.109

霧島に生きる

①～⑤手足の伸ばし方や跳び方を、身ぶり手ぶりを交えながら教える皿良さん。楽しそうに跳ぶ子どもの姿に時折笑顔に ⑥「開脚跳び」をする皿良さん。手足の先まで伸びるしなやかな体は69歳とは思えない柔軟さ ⑦技の一つ「後方伸身宙返り」を披露する皿良さん ⑧空中で体を真っすぐ伸ばす練習。「スーパーマンの形になるんだよ」と自ら実演



空

中で華麗な模範演技を披露し、子どもたちから「まるでヒーローみたい」と尊敬を集めるのは、県トランポリン協会理事長の皿良五夫さん(69)です。トランポリンは、技の難易度や美しさを競う「トランポリン競技」から、体力づくりや健康維持など気軽にできる「レクリエーション・トランポリン」まで幅広く楽しまれています。

トランポリンの普及のほか、市内外の小学校でも体育の授業でマット運動などを教えたことがある皿良さん。体を動かすことが好きになったきっかけは、子どものころに始めた体操でした。

「小学校の授業で組体操を習いました。体が小さかったので組体操ではいつもてっぺん。そこから見える高い景色が気持ち良くて、体を動かす楽しさを知りました」

中学は器械体操部、高校では体操部で団体徒手(現在の新体操)をやり、3年生のときには全国高校体操競技選手権大会に出場したことも。39歳頃からサッカースポーツ少年団、水泳・体操スポーツ少年団と関わるようになり、指導資格を取得しながらコーチとして携わります。そんな中、皿良さんがトランポリンに出会ったのは52歳のとき。新聞で日本トランポリン協会主催の講習会が鹿児島市であることを知ります。



皿良五夫さん(69)

都城市出身。高校卒業後、鹿児島工業高等専門学校に勤務。日本体育協会公認ジュニアスポーツ指導員など多数の資格を持つほか、九州トランポリン連盟理事などの役職も務める。体力維持のため1時間のウォーキングと腹筋、懸垂などを行う。趣味は旅行と寄席。隼人町在住。

自由自在に弾む トランポリンの 魅力を広めたい

「トランポリンを少年団の練習に取り入れられな
いかと思いましたが、初めて跳んだときフワッ
と体が宙に浮いて、まるで無重力を体感しているよ
うでした。宙返りなど空中で自由自在に体を動かせ
る、こんな面白いものはないと思いました。トラン
ポリンは5、6分跳ぶだけで1キロ走るほどの運動量
があり体幹も鍛えられます。楽しくて体にもいいト
ランポリンを子どもたちに教えたいと思いました」
トランポリンの魅力にすっかりとりつかれた皿良
さんですが、県内のトランポリン競技者はおろか用
具も満足にありませんでした。

「練習するトランポリン台も倉庫で眠っていたも
のを譲ってもらい、約20万円かけて修理しました。
指導者もいなかったので全国各地へ講習を受けに行
きました」
スポーツ少年団の練習に取り入れるほか、社会人
の「鹿児島トランポリンサークル」も結成。全国ス
ポーツレクリエーション祭に選手、監督として出場
を果たします。

さらに幅広い世代に教えたいと平成23年に立ち上
げた「トランポリンクラブRARA」では、霧島市
や始良市など県内4か所で教室を開いています。最
初は5人だった受講者が、今では3歳から60代の約
230人が通うまでに。皿良さんは真剣なまなざし
で、時折笑顔を見せながら身ぶり手ぶりを交え指導
します。トランポリンを教えてうれしかったことを
聞くと「大人も子どもも跳んでいると、だんだんと
笑顔になってくるんです。楽しそうな表情を見ると、
トランポリンを始めて良かった」と笑みがこぼれま
す。

トランポリンは、平成12年のシドニーオリンピック
クから正式種目になり、国民体育大会(国体)でも
4年後の鹿児島国体前年の茨城国体から正式種目と
して内定しました。夢は「トランポリンの良さを知っ
てもらい県内の愛好者を1000人に増やし、オリ
ンピックや国体で活躍する選手を鹿児島で育てるこ
と」と話す皿良さん。トランポリン普及のため、今
日も皿良さんは跳び続けます。



- 時間=1時間程度
 - 場所=霧島市、始良市、鹿児島市、志布志市
- ※日時など、詳細は問い合わせるかホームページをご覧ください。 [鹿児島 トランポリン](#)

☎=皿良五夫さん ☎(42)3808
mail: trampolinerara@yahoo.co.jp

郷土史への扉



今年、国分平野を斜めに分断するように流れていた天降川が寛文六（一六六六）年、現在のようにな筋筋に変わって三五〇年を迎えます。前回は旧天降川の様子を紹介しましたが、今回は川筋直しに至った背景について紹介します。

暴れ川「天降川」

天降川の流れる国分平野は、縄文時代早期（約六千年前）の温暖化に伴う海面上昇によってできた*1沖積平野です。平野奥部までの標高の高低差はほとんどなく、河川の流れば非常に緩やかになっています。

そのため普段は穏やかな流れですが、多量の雨が降ると増水、氾濫を起し人々を苦しめてきました。

暴れ川を示すエピソードとしてあるのが、天降川河口付近の国分湊地区に鎮座する「長野神社」。当初、国分清水の牟田の河川付近にありましたが、鎌倉時代の建長年間（一二四九～一二五五）に起きた河川の氾濫によって、湊の地まで流され現在に至っている、という伝承が残っています。

薩摩藩の事情

天降川の川筋直しの背景には、当時薩摩藩が抱えていた実情にも深い関係があります。

天降川筋直し三五〇年記念

天降川の姿 その②

薩摩藩の石高は七十七万石といわれ加賀藩百二万石に次ぐ第二の*2大藩でしたが、江戸時代当初から慢性的な財政赤字に苦しんでいました。その要因は次のとおりです。

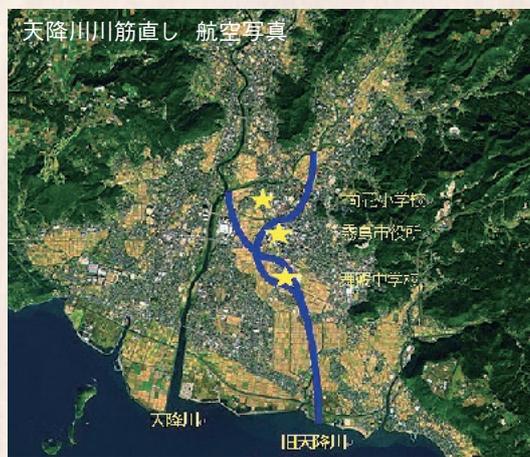
- ① 武士の割合がおよそ25%と多い。他藩は5%ほど。
- ② 石高の七十七万石は初高であり、玄米高では三十六万石程度であった。他藩は玄米高。
- ③ 幕府が実施する事業の負担金は一万石当たりとなっており、薩摩藩は七十七万石分であった。
- ④ 参勤交代で多額の資金を要した。
- ⑤ 藩内は火山灰（シラス）に広く覆われ痩せた土壌が多く、作物に適した土地が少なかった。
- ⑥ 台風や火山噴火などの自然災害が多く、特に霧島や桜島の噴火によって

多大な被害があった。このような苦しい財政状況の中、川筋直しによって約四百町歩の水田ができ、新たに五千石の米が採れるようになったことは、薩摩藩にとっては非常

に重要なことであったと思われる。

一石三鳥の治水工事

天降川の川筋直しの主な理由としては、増水のたびに起こる河川の氾濫を防ぐための治水工事であるとともに、



新たに水田を作るための新田開発でした。

河川をあえて微高地である国分広瀬の大野原と、隼人町の真孝原の間に通すことは、一見、難工事でコストもかさむ計画と思われますが、一旦水路を通すと、微高地全体が堤防の役割を果たすため、河川が決壊するような被害は起きません。また、手籠川と天降川の合流地点から錦江湾までの河川を直線状にすることで、増水しても抵抗も小さく流れやすい河川、すなわち災害が起きにくい河川に造り変えられました。川筋直しによって災害がなくなった旧河川敷は、穀倉地帯へと生まれ変わり、薩摩藩や地域の人々に恩恵をもたらしました。

また、当時の天降川は国分平野を斜めに分断するように流れており、船荷を運ぶ水運として利用していました。反面、両岸が大きく隔たっていたため、橋を架ける場所も少なく、人々の行き来や物流の流れ、つまり経済活動を阻害していました。

このように、天降川の川筋直しは、防災・治水、水田開発、経済活動の振興を目的とした、一石三鳥の治水工事であったと思われます。

今回は川筋直しと山ヶ野金山の関係について紹介します。

（文責 川谷）

*1 土砂が積もってできた平野。*2 石高が多い藩。



～楽しもう★ジオパーク!～

ジオパークとは、大地(ジオ)と人のつながりを見つめ直す公園のことです。このシリーズでは、そんな霧島ジオパークのいろいろな楽しみ方を紹介してきました。今回は最終回となります。

体験の様子をケーブルテレビで放送します。

- 放送日時=3月23日(水)～25日(金)、(再)30日(水)～4月1日(金)午前3時～9時、正午～午後4時～8時～11時
- 番組名=南九州ケーブルテレビ「情報マルシェ」



こちらの2次元コードからも視聴できます

じもテレ 霧島 検索

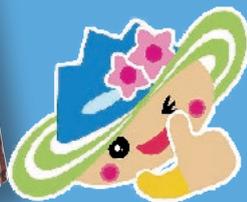
霧島で読み解く九州のジオパーク

霧島ジオパークエリア内には、九州のほかのジオパークを知る手掛かりがたくさんあります。今回は、霧島ジオパークの石川徹専門員がそのいくつかをご紹介します。



いしかわ とおる 石川 徹 (霧島ジオパーク推進課専門員)

ジオパーク同士のつながりを知るのも楽しいですよ。



霧島ジオパークの楽しみ方を紹介します

1 神話の里公園から望む桜島と錦江湾



平成25年に認定された「桜島・錦江湾ジオパーク」。その手前に広がる平らな地形は、約3万年前の錦江湾(始良カルデラ)の大噴火で出た火砕流が、元の地形を埋め立ててできたシラス台地です。シラスは霧島ジオパークエリア内に広く分布し、独特の景観をつくり出しています。

2 霧島と錦江湾の噴出物が会う場所・霧島神水峡



ここへ来ると、霧島と錦江湾(始良カルデラ)の地質的なつながりが分かります。

3 文字岩入り口

神話の里公園

平成25年に認定された「桜島・錦江湾ジオパーク」。その手前に広がる平らな地形は、約3万年前の錦江湾(始良カルデラ)の大噴火で出た火砕流が、元の地形を埋め立ててできたシラス台地です。シラスは霧島ジオパークエリア内に広く分布し、独特の景観をつくり出しています。

霧島神水峡



九州にあるジオパークの位置



3 オレンジ色の地層の正体は? (文字岩入り口)

果ては東北地方にまで分布しています。噴気の規模の大きさが分かります。

霧島のあちこちで見られるオレンジ色の地層は、昨年認定された「三島村・鬼界カルデラジオパーク」があるところから噴出した火山灰で、九州全土はもちろん、



霧島ジオパークは、桜島・錦江湾ジオパークや三島村・鬼界カルデラジオパークと互いの地質が重なり合う場所が多く見られ、地質的に密接につながっていることが分かります。日本では39か所が日本ジオパークに認定され、九州には8つのジオパークがあります。中でも島原半島と阿蘇

は世界ジオパークに認定されています。ジオパークの活動は、これまでユネスコの支援事業でしたが、昨年11月にユネスコの正式事業となり、今後、ジオパークに対する世界的な関心も一層高くなってきます。霧島山を取り巻く県境を超えた地域が連携してジオパーク活動を推進する

ことで、新たな地域的価値が生まれ、観光をはじめとした地域産業の活性化や教育活動、さらには活力ある地域づくりにつながっていくことが期待されています。霧島ジオパークの魅力を世界へ。いよいよ、世界ジオパークの認定を目指した霧島ジオパークの取り組みが始まります。

お知らせ

健康マイレージ応募 受付期間が終了します

事業に参加してポイントを貯め、応募すると抽選で景品が当たる「健康マイレージ事業」の応募締め切りが迫っています。

ポイントが足りない人は、3月19日、20日に開催されるポイント対象事業の「第20回龍馬ハネムーンウォークin霧島」への当日参加や、各地区自治公民館に配布されているウォーキングマップ裏面の「50万歩の旅」を活用（10万歩ごとに1ポイント進呈）し、ポイントを取得しましょう。

- 応募締切 3月22日(火)
- ☎ 健康増進課 ☎ (64) 0905

国税専門官採用試験

国税専門官採用試験（大学卒業程度）の受験者を募集します。

- 申込期間 4月1日(金)～13日(水)
- ※受験資格や申し込み方法など

引っ越しシーズンの窓口の受付時間を延長します

3月末から4月の初めは、引っ越しに関連する手続きなどのため、窓口が大変混み合います。霧島市では、3月24日(木)から4月6日(水)までの間、国分庁舎と水道部庁舎(隼人)窓口の受付時間を延長します。

- 平日 = 午後5時～7時
 - 土日 = 午前8時15分～午後5時
- 特に混雑が予想されるのは、3月25日(金)から4月1日(金)です。期間中の平日午後5時以降や土日は、比較的短時間で手続きすることができます。

各種証明書の交付のみの場合は、午前10時から午後7時まで開所している市民サービスセンター「コア・よか」もご利用ください。

◎時間延長を行う期間

3月							4月						
24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
午後7時まで		午後5時まで		午後7時まで				午後5時まで		午後7時まで			
←							→						
※特に混雑が予想される期間です。													

◎時間延長を行う担当課の業務

区分	取り扱う業務内容	
国分庁舎	市民課	住民異動届の受け付け、住民票の交付、印鑑証明の交付、印鑑登録、戸籍謄抄本の交付、市県民税(所得証明、課税証明(個人・世帯))、納税証明(市県民税、軽自動車税(車検用))*1、戸籍届け書の受け付け ※市民サービスセンターでの戸籍謄抄本の交付は、現在戸籍に限ります。
	保険年金課	国民健康保険の届け出・受け付け・被保険者証の発行、国民年金・後期高齢者医療関係の届け出・受け付けなど
	長寿・障害福祉課	介護保険・障害福祉関係の各種申請・受け付け
	子育て支援課	児童手当、子ども医療費助成などの申請・受け付け、保育所入園申し込みなど
水道	水道部 水道課	水道使用の開始・精算の受け付け 場所：隼人町内 341 ☎(42)3500

*1. 赤字(下線)で表示してある業務は、「コア・よか」でも取り扱っています。
☎=市民サービスセンター「コア・よか」☎(46)1337
2. 暗証番号を登録した「霧島市民カード」を持っている人は、自動交付機でも、住民票、印鑑証明、一部の税証明を取ることができます。
※毎日、午前8時から午後8時まで
3. 個人番号(マイナンバー)カードをお持ちの方は、コンビニエンスストアでも住民票、印鑑証明、戸籍謄抄本など(本籍霧島市のみ)を取ることができます。
※住民票・印鑑証明…毎日午前6時30分から午後11時まで
※戸籍謄抄本など…平日午前8時15分から午後5時まで

☎=市民課 ☎(64)0901

ど詳細は、問い合わせるか
人事院ホームページをご覧
ください。

- ☎ 人事院人材局試験課 ☎ 03(358)5311

高齢者肺炎球菌予防接種

高齢者肺炎球菌予防接種の助成は、3月31日(木)までです。

平成27年4月から平成28年3月31日までに、65・70・75・

80・85・90・95・100歳にな
る人が助成対象で、予防接種
を受けていない人は健康増進
課か総合支所市民福祉課まで
問い合わせください。

- 料金 一般接種料金7500円、助成額4000円。

※ただし生活保護受給者は無
料です。

- ☎ 健康増進課 ☎ (64) 0905

年500円で交通事故 見舞金に最大50万円

霧島市交通災害共済は、交
通事故の被災者を加入者同士
で助け合う相互扶助制度で
す。市内に住居登録している
人(1月末現在)に、加入申
込書を送付しました。

(平成28年4月1日現在)は、

掛け金免除で自動的に加入者
となるため、送付していませ
ん。

加入者は交通事故に遭った
場合、見舞金の請求ができま
す。請求には交通事故証明書
が必要ですので、必ず警察に
事故の届け出をしてください。

- 掛け金 500円 / 1人
- ☎ 安心安全課交通防犯グループ ☎ (64) 0997

Music Stage +きりしま

スペシャルゲストの宇崎竜童さんのほか、市内で活躍するミュージシャンが白熱のライブを行います。

- 日時 3月26日(土)午後6時から(開場 午後5時30分)
- 場所 霧島市民会館
- 料金 2000円(当日2500円)

◎ 霧島市民会館 ☎(64)0926

選挙啓発ポスター展

平成27年度明るい選挙啓発ポスターコンクール応募作品を展示します。

- 期日/場所 3月16日(水)～27日(日)/国分シビックセンター1階ロビー、3月28日(月)～4月3日(日)/イオン隼人国分店2階イオンホール

◎ 選挙管理委員会事務局 ☎(42)1143

福ぶくコンサート

宮浦宮のイチョウ巨木の下で歌や演劇などで楽しいひと

ときを過ごしませんか。

- 日時 3月20日(日)午後1時～3時
- 場所 宮浦宮(福山町福山2437)
- 入場料 無料

◎ エコミュージアム福山(池江) ☎0990(9728)1760

第一工業大学公開講座 安全安心な住宅

第一工業大学が開発した制震装置の紹介や安全・安心な住宅を手に入れる方法を分かりやすく説明します。市から木造住宅耐震化についての説明もあります。

- 日時 3月19日(土)午後1時30分～3時30分
- 場所 国分公民館大会議室
- 定員 70人
- 参加料 無料

◎ 第一工業大学社会連携センター ☎(45)0640

緑のカーテンの作り方

つる性の植物を窓際にはわせる「緑のカーテン」が光を

募集

遮ることで、室温の上昇を抑制することができます。冷房の使用を控え、二酸化炭素の削減に貢献しましょう。

- 日時 4月16日(土)午前10時～正午
- 場所 国分シビックセンター多目的ホール
- 内容 国分中央高校園芸工学科の生徒による育て方教室、ゴーヤ苗6株配布。
- 対象 市内の家庭、学校、企業などのグループ単位(1人でも可)。ただし、1団体3グループまで。
- 定員 100グループ
- 申込方法 住所、グループ名、代表者名、電話番号を電話かファクス、メールで。

- 募集期間 3月1日(火)～4月6日(水)
- ◎ 環境衛生課 ☎(64)0961、FAX(47)1930、メール kankyo@city-kiri-shima.jp

姉妹都市(岐阜県 海津市)交流事業に 参加しませんか

- 期日 4月24日(日)～26日(火)2泊3日

内容 薩摩義士の偉業史跡、木曾三川公園、羽島・竹鼻別院などの視察。治水神社春の大祭、姉妹都市盟約10周年記念式典参列。交流会。

- 参加資格 市内に居住または勤務し、薩摩義士などに興味があり、霧島市薩摩義士顕彰会に3年間入会できる健康な人。
- 負担金 4万円
- 応募方法 はがきに住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号を記入の上郵送。
- 定員 10人(申し込み多数の場合は地域・過去参加の有無を考慮した上で抽選)
- 申込期限 3月24日(木)必着

- ◎ 総務課市民運動推進室 ☎(64)0915

手話奉仕員・手話通訳者養成講座

- 【奉仕員養成(入門課程)】
- 対象 手話に興味がある人
- 期間 4月4日～8月29日(毎週月曜・全18回)
- 【通訳者養成(基本課程)】
- 対象 手話奉仕員養成講座(入門・基礎)の両課程を

修了している人か同等のレベルを習得している人。

- 期間 4月5日～平成29年3月28日(隔週火曜・全32回)
- 【通訳者養成(応用課程)】
- 対象 手話通訳者養成講座(基本課程)を修了している人か同等のレベルを習得している人で、手話通訳者統一試験を受験し手話通訳者登録を考えている人。
- 期間 4月5日～平成29年3月28日(隔週火曜・全30回)

- 【全講座共通】
- 時間 午後7時～9時
- 場所 国分公民館大会議室ほか
- 対象 18歳以上の人(高校生除く)
- ※ 1人1講座のみ
- 定員 各講座とも30人程度(申し込み多数の場合は抽選)
- 受講料 無料(テキスト代が別途必要)
- 申込期限 3月25日(金)

- ◎ 長寿・障害福祉課障害福祉グループ ☎(64)0855

※ 問=問い合わせ先 申=申し込み先

※ 健マ=「健康マイレージ」対象の事業(20歳以上が対象)

健康マイレージについての問い合わせは、健康増進課健康づくり推進室 ☎(64)0905

国際交流員と交流しよう

	英語でティータイム	韓国語教室	English Hour
日 時	4/6(水) 14:00～15:00	4/14(木) 18:30～19:30	初級 4/11(月) 18:00～19:00 中級 4/11(月) 19:10～20:10 上級 4/25(月) 18:30～19:30
場 所	国分公民館調理講義室	国分公民館中研修室	国分公民館中研修室
対 象	英語初級レベル 以上の市民	市民	市民
受講料	無料	無料	無料
定 員	先着15人	先着15人	先着各15人
申込 期限	4/5(火)	4/12(火)	初級・中級:4/7(木) 上級:4/21(木)
内 容	英語で話をしながら ティータイムを過ご します。	青白旗挙げゲームをし ながら韓国語を勉強し ます。	自分に合ったレベルで 国際交流員と楽しく会 話します。 ※参加は1人1つのレベ ルに限ります。

※電話か市ホームページから申し込みください。
 = 企画政策課国際交流グループ ☎(64)0914

河川掘削土砂受入地募集

河川掘削に伴い発生する建設発生土の有効活用を図るため、くぼ地の埋め立てや低地のかさ上げなどを目的とした建設発生土の受け入れ地を募集します。

- 工事箇所Ⅱ①天降川左岸 (国分野口) ②検校川右岸

(国分川内) ③霧島川 (隼人町松永)

- 募集対象Ⅱ法人・個人を問わない
- 募集期限Ⅱ4月28日(木)
- 搬入期間Ⅱ4月～5月
- 受入条件
- 運搬距離は、当該工事箇所から①14キロ以内 ②11キロ以内 ③22キロ以内。

手作り味噌講座

昔は各家庭で作られていた手作り味噌。初心者でも簡単に作れます。

● 日時Ⅱ3月28日(月)午後1時～3時、3月30日(水)午前10時～正午(全2回)。

- 場所Ⅱ天降川地区共同利用施設
- 対象Ⅱ成人男女
- 定員Ⅱ先着12人
- 受講料Ⅱ1750円(材料費含む)

- 大型ダンプトラック(10ト車)で土砂を搬入できること。(敷均しは、受け入れ側で行うこと)
- 法律、関係条例上、埋め立て(盛り土)などが可能な土地であり、関係手続きが申し込み時に完了していること。
- 原則として、おおむね1000立方メートル以上の土砂搬入が可能な土地。
- 申込方法Ⅱ申し込み先窓口にある申込書で。
- 申込方法Ⅱ始良・伊佐地域振興局建設部河川港湾課「柏木」☎(63)8367

サン・あもり情報

講座名	日 時	定員	受付開始
ハタ・ヨガ(初級)	4/5～6/28 (毎週火曜・全10回) 19:30～20:40	先着 21人	3/9 (水)
スロー・フローヨガ	4/6～6/22 (毎週水曜・全10回) 19:30～20:40		

- 申込方法Ⅱ直接か電話
- 受付Ⅱ3月7日(月)から
- ※1人あたり約5キロのみそを持ち帰りできます。
- 場所Ⅱ天降川地区共同利用施設 ☎(43)1951
- 準備Ⅱヨガマット(バスタオル可)、動きやすい服装、タオル、飲み物。
- 講師Ⅱ後藤淳子さん(ヨガインストラクター)
- 受講料Ⅱ各講座4500円

■ヨガ講座

- 親子でえいご遊び
- 親子で英語の歌を歌ったり英語の絵本を読み聞かせたりします。
- 日時Ⅱ4月5日(火)午後2時30分～3時30分
- 対象Ⅱ2歳以上の未就学児とその保護者
- 定員Ⅱ先着15組(12組以上で開催)
- 受講料Ⅱ700円
- 講師Ⅱ金丸美代さん(元中学校英語教諭)
- 受付Ⅱ3月4日(金)から

■骨盤エクササイズ

- 日時Ⅱ4月18日～6月20日(全て月曜・全8回) 午前9時50分～10時50分
- 準備Ⅱヨガマット(バスタオル可)、動きやすい服装、室内用シューズ、タオル、飲み物。
- 定員Ⅱ先着30人(10人以上で開催)
- 受講料Ⅱ3500円
- 講師Ⅱ反田裕子さん(日本3B体操協会公認指導者)
- 受付Ⅱ3月7日(月)から
- 太極拳
- 体の芯から癒やされるやさしい動きの太極拳講座です。

※**問**=問い合わせ先 **申**=申し込み先
 ※**健マ**=[健康マイレージ]対象の事業(20歳以上が対象)
 健康マイレージについての問い合わせは、健康増進課健康づくり推進室 ☎(64)0905

●日時 4月1日～6月17日
 (全て金曜・全10回) 午後
 2時～3時30分

●準備 動きやすい服装、室内用シューズ、タオル、飲み物。

●定員 先着20人(10人以上で開催)

●受講料 4500円

●講師 馬場照代さん(太極拳インストラクター)

●受付 3月4日(金)から

【共通事項】

●申込方法 直接か電話

◎**問・申** サン・あもり ☎(43)3373

市民参加型ミュージカル 出演者募集

国民文化祭霧島演劇祭ミュージカル公演の再演が決定し、役者の欠員に伴う補充と運営スタッフを募集します。

●タイトル Ⅱ「宇宙に願いを」
 Ⅲ「沙羅と星たちの物語」
 2016公演

●期日 8月7日(日) 昼夜
 2回公演

●場所 霧島市民会館

●対象 Ⅱ来年度小学4年以上の老若男女(役者経験の有)

無は問わない)
 ●応募締切 4月20日(水)
 ●オーディション 4月30日(土)

※スタッフは随時募集中です。詳細はきりしま創造舞台ホームページをご覧ください。

◎**問・申** きりしま創造舞台

【地蔵原】 ☎090(972)80706

相談

休日納税相談窓口をご利用ください

事情により市税などを納期内に納付することが難しく、平日に納税相談に来庁できない人のために、休日納税相談窓口を開設します。

市税などを納期限が過ぎても納付しなのまま放置すると、法律に基づき財産調査、財産差し押さえを行うことがありますので、ぜひご利用ください。

●日時 毎月第2日曜、午前9時～正午。

●場所 Ⅱ 収納課(市役所国分庁舎1階9番窓口)

◎**問** Ⅱ 収納課 ☎(64)0892

障害者差別解消法が4月1日からスタートします



NPO法人コスモス園
 理事長
 池田和弘さん(68)

この法律では、障がいのある人への差別をなくすことで、障がいのある人もない人も共に生きる社会をつくることを目的としています。国や市などの行政機関、会社・店舗などの民間事業者に対して、障がいのある人への「不当な差別的取り扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」を定めています。

※対象となる障がい者は、身体障害・知的障害・精神障害・発達障害などで、日常生活や社会生活が困難になっている人。(手帳の有無を問わない)

■不当な差別的取り扱い

障がいのある人に対して、正当な理由無くサービスの提供を拒否したり、制限や条件を付けたりするなど、障がいのない人と違う扱いをすること。

■合理的配慮とは

障がいのある人に合った工夫や、やり方の配慮を行うこと。
 例えば、聴覚障害者に対して、筆談や手話で対応する、車椅子の人に対してスロープを設置したり移動を手助けしたりする、知的障害がある人に対して分かりやすい言葉で説明するなど。

合理的配慮のために、高額な費用が生じるなど実現が困難な場合もあります。その場合は、ほかの工夫や対応を講じることによって努力する必要があります。

◎**問** = 長寿・障害福祉課 ☎(64)0855

車 椅子は5段差があると、タイヤの小さい前輪からは登れません。後ろを向いて後輪から登っても、扉を開けるのにとっても苦労します。傾斜が急なスロープや窓口の接客カウンターが高すぎるなど生活の中で不便を感じることは数多くありますが、障がいのある人も無い人もお互いのコミュニケーションをとることで、改善できることがあります。分かりやすい言葉で説明したり、扉を開けてあげたり、筆談や身振り手振りでの意思疎通をするなど、ちょっとした配慮が私たちの大きな助けになります。「何かお手伝いできることはありませんか」という言葉をかけてもらえるとありがたいです。

暖

冬かと思われたこの冬に、まさかの大雪が降りましたね。朝早くに目が覚めてカーテンを開けると二面の雪化粧。一晩でこれほど降るとは。新聞は遅れるだろうなと思つたら、午前5時過ぎには届いていてびっくり。新聞屋さんはこの大雪の中、どうやって配達したのでしょうか。そしてテレビでは大雪で交通機関が止まっている中、出勤のためにタクシーを待つ大勢の人が列を作っていました。日本人はなんて真面目なんだろうと感心しました。寒いと言つてこたつにしがみつく自分に喝を入れた朝でした。(しらたま43歳女性)

大

雪と大寒波。わが家の台所は水道管が凍結して水が出ませんでした。夕方裏庭へ行くと、水道管が破裂しておびただしい水の量。慌てて止水栓を止めました。水道部に漏水していることを電話で報告して、業者に修理を依頼しました。でも修理の依頼が多いとのこと2日後に来ていただき、なんとか復旧しました。ほっとしたとこ



大山チエ子さん(国分)

読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんの声をお寄せください。

ろで漏水した水道料金が気になり水道部に電話をかけると、寒波による自然現象の出来事なのに「ご迷惑をお掛けして申し訳ありません」と丁寧に対応していただきうれしかったです。3日間の断水のつらさが吹っ飛びました。水道部の皆さん、水道管の修理に駆け回ってくださった業者の皆

さん、大変なご苦労をされたことと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。私たちの生活を守っていただきありがとうございます。ありがとうございました。(安達ひとみ75歳女性)

●

今回は平野部までかなりの積雪。子どもたちは大喜びでしたね。市内各地では漏水が

発生し断水する地域も。一大事になりましたが、市民の皆さまのご理解とご協力により迅速な復旧ができました。心から感謝申し上げます。

霧

島で生まれ育ち、結婚して6人の孫に恵まれました。まだまだ元気で働いています。今年もウオークラリーの季節になり、3月6日は山ヶ野ウオーキング大会に参加します。その後は龍馬ハネムーンウオーク。今年は「花はきりしま菜の花コース」に参加して霧島七不思議を見てみたいと思います。知らない所がまだまだまだたくさんあります。霧島は自然豊かで温泉もあり最高です。(きりしまおごじよ56歳女性)

●

龍馬ハネムーンウオークは当日参加もできます。ウオーキングの後の温泉も最高です。詳しくは霧島市観光協会(☎78-2115)へ問い合わせください。

国

際交流員の韓国語教室に参加しました。何年

お祭りやイベントの最新情報をいち早くキャッチ。お好みのイベントを探して、出掛けてみませんか。

始良市 県民の森桜フェスティバル



- 日時=3月27日(日) 午前10時30分～午後3時30分
 - 場所=県民の森中央広場
 - 内容=踊りや和太鼓演奏の芸能ステージ、地域特産品が当たる抽選会など。
- 問=県民の森管理事務所 ☎(68)0557

都城市 都城もちお桜まつり



- 期間=3月25日(金)～4月3日(日)
 - 場所=母智丘公園(都城市横町)
 - 内容=日没から午後9時までのライトアップのほか、3月26、27日は民俗芸能などのイベントも開催。
- 問=都城観光協会 ☎0986(23)2460

成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。錦江湾奥部には、錦江湾奥部に位置する鹿児島市、始良市、垂水市、霧島市の4市が、行政区を越えて連携し、地域活性化を図ります。

も前から韓国語に興味があり、一人でこつこつ勉強しているのですが、生の韓国語が聞けてとてもうれしい思いでした。そんな中、鹿児島空港に立ち寄る機会がありました。いろいろな案内板に韓国のハングル文字が目にとまりました。勉強のつもりで読んだり意味を考えたりしながら楽しいひとときを過ごしました。これからも教室を利用しようと思えます。(Y・M 54歳女性)

読める文字が増えていくと楽しいでしょうね。これらかもこつこつ頑張ってください。

元 日に同じ年の友人が病

不安や恐怖の中で約10年間も病と闘ってきた友人の気持ちを考えて、涙が止まりませんでした。今は折に触れ友人のことを思い出します。たわいのない会話の中にとても大事なメッセージが込められていたことに気がつき、はっとさせられることが何度かありました。まだまだ悲しみでいっぱいですが、天国で見守ってくれ

ている友人に対して恥じない生き方をしなければと思います。(りりらら44歳女性)

つらい経験をされましたね。一日も早くその悲しみを乗り越えてください。

友 だちが国分に念願の力

フエを出しました。小さなお店ですが彼女の夢がたくさん詰まっています。近所の方がよく立ち寄ってください。一息つける場所を見つけた母のうれしそうな顔が目につかびます。「この場所です」と霧島のいいところを発信したい」という彼女を誇りに思います。これからも、地域に寄り添う、ほっとする場所であってほしいと願っています。(いぶむあ29歳女性)

地域の皆さんに愛されるすてきなお店ですね。これからも霧島の魅力発信をよろしく願います。

外 出して帰ってくる女

関のドアに袋が掛けて

ありました。中にはケーキ、手袋、イヤリングなど、私への誕生日プレゼントでした。すっかり忘れていた私は、すぐに電話で「いつもありがとう」と話しました。手袋は散歩をする私にと小学1年の孫娘が選んでくれたそうです。嫁さん、孫息子たちに感謝です。これからも仲良くしていきたいです。(えみちゃん55歳女性)

お便りありがとうございます。寒い日の散歩道も手袋が温かく包んでくれますね。

霧 島市へ来てはや10年が

たちました。4月にふるさとに帰ることになり思い出が尽きません。親切な霧島の方々にお世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。特に、図書館では好きな本をいっつもゆつくりと堪能させていただけます。心が癒やされました。ありがとうございます。(白梅咲57歳女性)

市外へ行かれても霧島人です。これからは霧島市の応援団としてよろしくお願いします。

ますね。

年 末に次男が帰ってきた

ので空港へ迎えに行きました。車の中から外の景色を懐かしそうに見ながら霧島市にふるさと納税をしたことを話してくれました。高校まで霧島で育ち、進学のため東京へ。今は愛知県で仕事をしています。霧島市のことを思いふるさと納税をしてあげたいことがうれしかったです。ふるさと納税をいつまでも思っていてほしいので、広報誌の絵はがきを送りたいと思います。(キャロットばーば61歳女性)

ふるさと納税をしていただきありがとうございます。平成27年度は2月末で全国から1億5千万円を超える寄付をいただきました。貴重な財源として有効に活用させていただきます。

このほか13通のお便りをいただきました。文章は紙面の都合上訂正させていただきます。ありがとうございます。

*環霧島会議と錦江湾奥会議を構成するまちの

環霧島・錦江湾奥イベント情報

鹿児島市 かごしま近代文学館企画展



- 期日=7月4日(月)まで(火曜休館)
 - 時間=午前9時30分~午後6時
 - 内容=「猫に恋した作家たち」と題し、猫に関する小説、エッセーなどを紹介します。
- 問=かごしま近代文学館・メルヘン館
(城山町5-1) ☎099(226)7771

垂水市 協和地区ハイキング大会



- 日時/対象=3月21日(月・祝) 午前9時~午後2時/小学生以上
 - 集合場所=協和地区公民館(海淵18)
 - 内容=風光明媚な協和地区の7.5kmを歩きます。弁当・おやつ持参、参加無料。
- 問=協和地区公民館 ☎0994(32)1920

*環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構

◎「広報きりしま」にお便りをくださった方の中からUne Passion (アン パッション)様より「商品券(1,000円分)」を15人の方にプレゼント。応募締め切りは3月22日(火)当日消印有効です。*当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。



◀市ホームページからもプレゼントの申し込みができます。

0 PRESENTS

アン パッション Une Passionの商品券(1,000円分)をプレゼント



私たちが作るお菓子を通じて一人でも多くの皆さまが幸せを感じられるよう、毎日、正直にお菓子作りに取り組んでいます。出来たて、焼きたて、生まれたてのお菓子を感じていただければ幸いです。色・味・甘い香りをお楽しみください。

Pâtisserie Une Passion (アン パッション)

霧島市国分中央一丁目3番42号(国分駅前) ☎(73)6938

営業時間/ 9:30 ~ 19:00 定休日/水曜日

アンパッション

検索



※読者プレゼントを提供して下さる方を募集しています。秘書広報課広報広聴グループ ☎(64) 0955 までご連絡ください。

霧島市ホームページ



市ホームページまたは携帯サイトをご覧ください。ご利用の携帯電話や読み取りアプリによって表示される内容が異なります。

霧島市公式ツイッター



市の情報をタイムリーにお知らせします。

◎人口/ 126,847人(-119)

男性/ 60,907人 (-73)

女性/ 65,940人 (-46)

出生 92人/死亡149人

転入255人/転出301人

◎世帯数/ 59,645世帯(-64)

(平成28年2月1日現在)



夜間に発病したら 小児科・内科の夜間救急診療

夜間に急に発病したお子さんのために、始良地区医師会会員の医師が輪番により市立医師会医療センターで小児科と内科の救急診療を行っています。

●月曜～金曜

受付時間 午後7時30分～10時30分

診療時間 午後8時～11時

●土曜・日曜・祝日

受付時間 午後6時30分～9時30分

診療時間 午後7時～10時

問 = 市立医師会医療センター(隼人町松永3320)

☎(42)1171

夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうかの判断目安を日本小児科学会ホームページで提供しています。

こどもの救急 検索

霧島市立医師会医療センター



今月の表紙



鹿児島神宮から溝辺町に上る隼人町朝日の県道脇に、鮮やかな桃色の花をいくつもつける木を発見。持ち主でミカン農家の西山憲治さん(80)によると、静岡県伊豆半島の河津町で生まれた早咲きの桜「カワヅザクラ」とのこと。通行人の目を楽しませようと、約10年前に植えたそうです。まだ寒さが残る中、春を予感し心を躍らせてくれました。残念ながら見頃は2月まで。来年はぜひ皆さんもご覧ください。(川床)

【撮影データ】

デジタルカメラ レンズ70～200mm
F2.8 1/1000s F3.2 ISO1600

サクラサク

2月14日 午後2時44分

EDITORS

つながりがテーマの今回の特集。毎号、たくさんの人に登場していただいている広報誌は「つながり」が命。先日、県広報コンクールで10年連続「特選」をいただけたのも皆さんのおかげです。つながりの結晶である「広報きりしま」を、これからもよろしく願います(美坂)

な かくして初めて有り難さが分ると伺った今号特集の取材中、地域おこしの名人で本誌アドバイザーでもある大坪徹さんが急逝した。もう聞けない「お叱り」の端々には、読者やふるさと、私たち広報担当者への愛情がにじんでいた。その思いを誌面でつなげていきたい(川床)

が むしゃらに跳んだ初めてのトランポリン。フワッと体が浮く感覚が面白い。血良さんに教えてもらい、開脚跳びにもチャレンジ。ちゃんとできていたかは分かりませんが、次の日は全身が筋肉痛に。楽しみながら体も鍛えられるトランポリン。一度体験してみませんか(土井)

リ ナ・ケトラという女子800m選手が1928年、オリンピックで金メダルを獲得。銀メダルは人見絹枝選手で、以降この種目で日本人はメダルを獲得していません。取材した黒川さんも女子800m。走ることが大好きだと話す笑顔で、大舞台目指して走り続けてほしい(古市)

市長コラム 前田終止

「感動」とは感じて動くこと
坂本龍馬が京都の寺田屋で傷を負い、西郷隆盛らの勧めにより霧島での湯治に妻のお龍と訪問してから今年で150年。作家の司馬遼太郎氏は著書『龍馬がゆく』の中でこの旅を「日本最初の新婚旅行」と表現。龍馬の人生で最も楽しかったと思われる霧島の旅は、姉の乙女に送った手紙に記されています。
22年前、高知でこの手紙を見て感動した私は「薩摩龍馬会」を発足。どこにもある里道や田園風景を観光資源に活用しながら、龍馬の足跡を歩くウオーキング大会を企画して、自ら実行委員長を務めました。
今年で20回を数えるこの大会は、地域の皆さまによる心のこもったおもてなしが大きな魅力です。今年からは指宿市や南さつま市の大会とも連携。コースの一部は九州オルレや森林セラピーのコースにも認定され、国内外のウオーキング愛好者が年間を通して楽しめるようになりました。
出会いの感動を心に留めず、感じたら動いたことにより、新たな感動が広がりました。

霧島の魅力 感動の瞬間を捉えた 力作がそろろう



霧島神宮の夜に舞う／きりしま大賞



天空のまきば／市制施行10周年記念賞



溝辺の夏／エアポート大賞

「霧島市市制施行10周年記念第12回きりしまフォトコンテスト」の審査会が2月8日に実施され、446点の応募の中から大賞や市制施行10周年記念賞など47点が選ばれました。

同コンテストには自由部門とエアポート部門があります。霧島市の四季に富んだ自然風景、伝統行事、環境、ジオパークなどに関するものを写した自由部門には117人から246点の応募が、飛行機、空港で働く人々、出会い、別れなど鹿児島空港の魅力を書いたエアポート部門には100人から200点の応募があり

ました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)

自由部門

- きりしま大賞Ⅱ伊地知国雄(国分)
- 市制施行10周年記念賞Ⅱ赤石透(福山町)
- 優秀賞Ⅱ中馬清幸(国分)、大重爲映(始良市)、松元涼子、津曲弘(以上鹿児島市)
- 観光協会賞Ⅱ牧大吾(隼人町)、山田宏作(国分)
- 環境賞Ⅱ中向裕一(国分)、植木英明(始良市)
- 入選Ⅱ藤崎恭子、福重千代子(以上国分)、増田信雄、原田紀代美、中俣秀昭(以上隼人町)、辻典昭、鳥越武一、追鳥千鶴男、川尻宣博(以上始良市)、鈴木弘信、川村ミチヨ、鮫島孝(以上鹿児島市)

エアポート部門

- エアポート大賞Ⅱ松本伸一(出水市)
- 優秀賞Ⅱ辻典昭、前村範夫(以上始良市)、寺園泉、塚原宏文(以上鹿児島市)
- 空港ビルディング賞Ⅱ川尻宣博(始良市)
- 霧島市商工会賞Ⅱ豊廣俊治(国分)
- かごしま空港ホテル賞Ⅱ田中良二(国分)
- 溝辺カントリークラブ賞Ⅱ白山佳以(岐阜県岐阜市)
- 日本航空賞Ⅱ谷山武(隼人町)、中川義昭(鹿児島市)
- 全日空賞Ⅱ大山修、山田宏作(以上国分)
- 日本エアコミューター賞Ⅱ関民子(国分)、中俣秀昭(隼人町)
- ソラシドエア賞Ⅱ坂元ヒサミ(国分)、宮里一己(薩摩川内市)
- スカイマーク賞Ⅱ峯崎善通(志布志市)、田尻みどり(鹿屋市)
- フジドリームエアラインズ

展示日程 上位入賞作品を展示します。

期 間	場 所
3月 1日(火) ~ 15日(火)	シビックセンター市民ギャラリー
3月16日(水) ~ 22日(火)	溝辺公民館(みそめ館)
3月23日(水) ~ 29日(火)	横川公民館
4月12日(火) ~ 18日(月)	牧園総合支所
4月19日(火) ~ 25日(月)	霧島総合支所
4月28日(木) ~ 5月31日(火)	鹿児島空港3階ギャラリー
6月 8日(水) ~ 14日(火)	福山公民館
6月15日(水) ~ 29日(水)	上野原縄文の森

- 賞Ⅱ田之上元(垂水市)、田尻徳孝(鹿屋市)
- Peach Aviator 賞Ⅱ瀬戸口誠(隼人町)、二宮忠信(始良市)
- ジェットスター賞Ⅱ中村浩幸(始良市)、安楽健一郎(鹿児島市)

● 時間Ⅱ各会場とも展示初日の午後1時から最終日の正午まで

◎ 閩Ⅱ文化振興課 ☎(42) 1119

絶賛分譲中

みどりと澄んだ空気の中で ゆったりと暮らしてみませんか!

Kirishima City Public Relations, Japan
2016.3.1発行 VOL.227

霧島新報



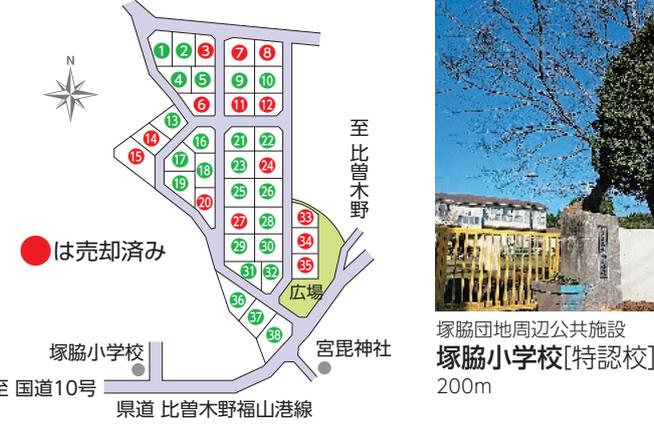
発行/〒999-4304 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 TEL/0995-45-5111(代)
ホームページ/URL http://www.city.kirishima.jp ■メール/アドレス/E-mail info@city-kirishima.jp
編集/秘書広報課 TEL/0995-64-0955 FAX/0995-64-0934 ■印刷/南国分新社印刷

① 塚脇団地 残 24 区画

330.92 ~ 482.54㎡

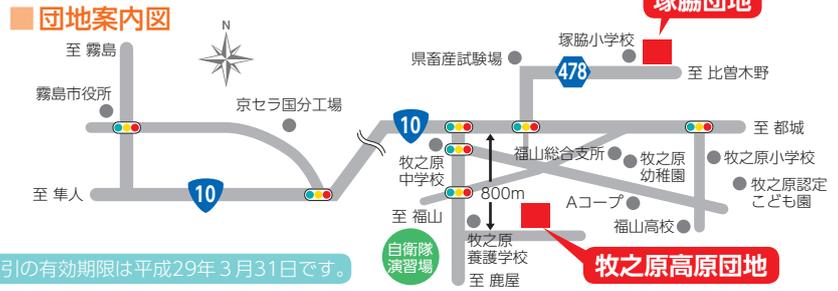
② 牧之原高原団地 残 11 区画

209.12 ~ 267.94㎡



所在地：霧島市国分上之段字棕梠段2229-16外
 一般住宅用・団地内道路幅員5~6m
 地目：宅地、建ぺい率・容積率規制なし
 電気・簡易水道配管済・プロパンガス・合併浄化槽
 価格 2,257,857円~ 3,136,510円 (総区画数38)
 牧之原バス停まで2.5km

所在地：霧島市福山町福山字大塚前6120-10外
 一般住宅用・団地内道路幅員6~8m
 地目：宅地、建ぺい率70%、容積率400%
 電気水道ガス配管済・合併浄化槽
 価格 2,112,112円~ 2,724,930円 (総区画数36)
 西牧之原バス停まで800m



霧島市土地開発公社分譲地購入特典制度

- ① 子育て支援制度 18歳未満のお子様がいいらっしゃる場合(妊娠中の方も含みます) → 5%値引き
- ② シニア支援制度 購入した土地に建てる住居に55歳以上の方が入居(同居)する場合 → 5%値引き
- ③ 複数区画購入割引制度 個人又は2親等内の親族で複数区画を購入する場合 → 10%値引き

特典制度と補助金を上手に活用しましょう

※中山間地域への転入・転居は、**霧島市の移住定住促進補助金が利用可能**な場合があります。(条件あり)詳しくは問い合わせください。

霧島市役所 企画部 共生協働推進課 中山間地域活性化グループ
 ☎0995(45)5111 (内線1542)

※この他にも分譲地があります。

問い合わせ先 現地案内致します。お気軽にお電話ください。

(売主) 霧島市土地開発公社
 霧島市隼人町内山田一丁目6番68号(隼人庁舎前)
 電話 0995(42)2023 (平日9:00~17:00)

各区画ごとの面積や価格等の詳細は霧島市公式ホームページで確認できます。
 (くらし>分譲地)